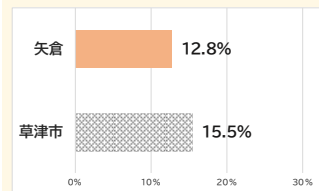


1.人口構成(R5.4.30) ※市と比較して割合が高い項目に着色

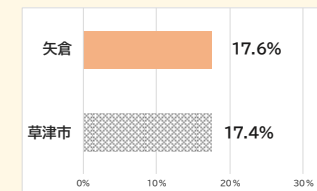
年齢区分	0~14歳		15~64歳		65歳以上		計(人数)
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
志津	2,502	17.8%	9,113	64.8%	2,453	17.4%	14,068
志津南	1,393	20.8%	3,830	57.2%	1,471	22.0%	6,694
草津	1,547	13.3%	7,372	63.3%	2,733	23.5%	11,652
大路	1,568	13.1%	8,101	67.7%	2,294	19.2%	11,963
矢倉	1,213	12.5%	6,191	63.7%	2,318	23.8%	9,722
渋川	1,318	13.8%	6,484	67.8%	1,765	18.4%	9,567
老上西	1,498	17.3%	5,345	61.7%	1,823	21.0%	8,666
老上	2,265	19.1%	7,547	63.7%	2,041	17.2%	11,853
玉川	1,354	11.0%	8,647	70.1%	2,335	18.9%	12,336
南笠東	766	9.8%	5,274	67.6%	1,760	22.6%	7,800
山田	927	11.9%	4,474	57.3%	2,407	30.8%	7,808
笠縫	1,598	14.3%	6,220	55.6%	3,373	30.1%	11,191
笠縫東	1,594	14.8%	6,415	59.5%	2,781	25.8%	10,790
常盤	648	13.3%	2,668	54.6%	1,567	32.1%	4,883
草津市	20,191	14.5%	87,681	63.1%	31,121	22.4%	138,993

4.高齢者の状況 (※③は、40~64歳の第2号被保険者も含む)

①単身高齢者世帯の割合(R5.4)



②介護認定がある高齢者の割合(R4.7)



③介護が必要となった原因で最も多い疾患(R1~R2新規申請者)

【要支援認定となった人】
骨折

【要介護認定となった人】
アルツハイマー型認知症



④主観的健康観

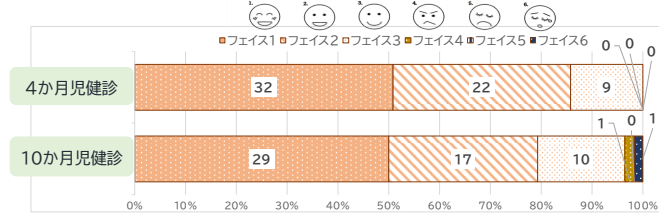
⑤主観的幸福感

健康状態が「とてもよい」「まあよい」と回答した人の割合
矢倉:78.6%
草津市:80.2%

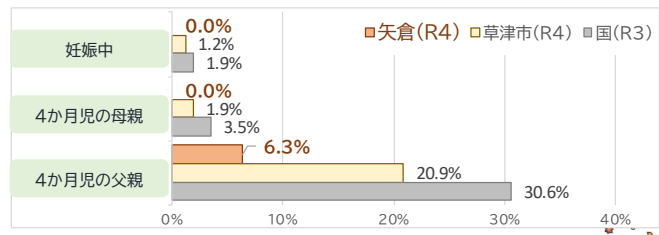
どの程度幸せかの平均(とても不幸 0点 ~ とても幸せ 10点)
矢倉:7.1点
草津市:7.0点

2.妊娠・出産・子育て

① 育児の気持ち(フェイススケール)の変化(R4年度)



② 喫煙状況(4か月健診での問診)



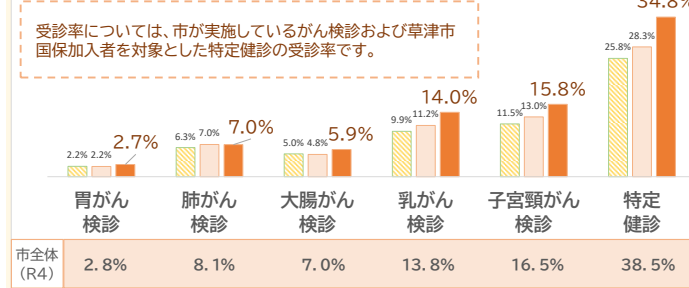
5.地域資源(地区組織活動・社会資源等)

子育てサークル・拠点施設	2か所
地域サロン	8か所
医療機関	医科:3か所・歯科:3か所
薬局	1か所
スーパー	1か所
コンビニ	2か所
ドラッグストア	0か所
町内会	12
健康推進員	8人

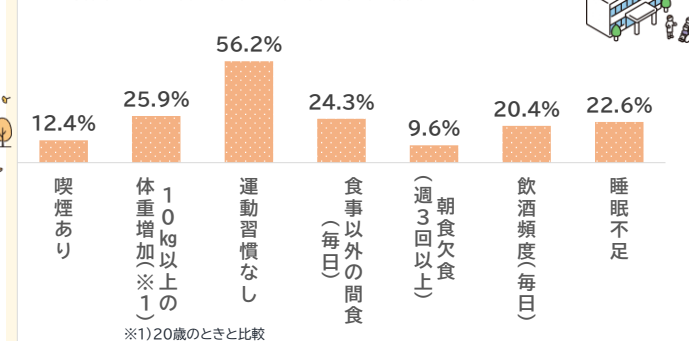


3.からだの健康・生活習慣

①市が実施しているけん診の受診率推移(R2~4年度)



②生活習慣(R4特定健診受診者の問診結果より)



6.地域の声

「転勤で引っ越してきました。これまでなかなか友達をつくれていないけど、ここにいられてほかのお母さんたちも優しいな感じでよかったです。」
「この子育てサロンの皆さんに、この子(赤ちゃん)の成長を見守ってもらいたい。」
「大阪まで通勤していたので、朝が早くて夜は遅い生活だった。マンションのなかで、隣近所とのつきあいはないです。」



<地域の目指す姿(目標)> 矢倉学区の住民は、よい健幸習慣を継続することにより、地域とつながりながら自立して本人が望む生活を送ることができる◎

<地域の特性と健康課題>

- 高齢化の伸展スピードが早く、人口が横ばいから減少傾向に転じているエリア。
- ボランティアや自主活動グループが多く、地域の居場所として開催されている「ふれあい喫茶憩」の活動が広がっている一方で、エリアによってはつながりの希薄化や担い手不足がみられることから、地域における見守りや支え合いの仕組みづくりが必要。
- 朝食の欠食率や、運動習慣がない人の割合が高い。各けん診のうち、特に中高年層(40-50代)の特定健診受診率が低いため、定期的にけん診を受ける習慣をもち、若いときから生活習慣病や介護予防に取りくめるような啓発を要します。



<健康課題の解決に向けた取組方針・活動状況>

- 健康推進員や民生委員・児童委員の皆さん、地域の活動団体や企業、スーパーと連携しながら、健康チェックの実施や食生活の改善等の生活習慣に関する講座を行っています。
- 地域の活動団体や居場所に出向き、生活実態やニーズを聞き取りながら、健康課題(地域課題)の解決に向けて、関係機関と協議を行っています。